

# かいほ ジャーナル



愛します! 守ります! 日本の海

Vol. **75**

2018 SUMMER

**特集** 海上保安制度創設70周年記念

# 観閲式及び総合訓練 華々しく開催



海上保安庁  
JAPAN COAST GUARD



海上保安制度創設70周年

# かいほ ジャーナル

C O N T E N T S



Vol. **75**

2018 SUMMER

## PHOTO GRAVURE

- 1 海上保安大学校、海上保安学校で卒業式を挙行
- 1 海上保安庁とベトナム海上警察の第4回実務者会合を実施
- 2 ジブチ共和国において海賊護送訓練等を実施
- 2 女性職員が活躍できる職場環境を目指してマタニティ服の導入
- 3 平成30年度測量船出港式を挙行
- 3 東日本大震災から7年を迎えて

## [特集]

海上保安制度創設70周年記念

- 4 **観閲式及び総合訓練  
華々しく開催**

## TOPICS

- 12 **NEWS FLASH** ニュースフラッシュ

裏表紙

## INFORMATION

大切な命! 自分で守る! 自船の安全確保3か条

海上保安大学校・海上保安学校採用試験

# 海上保安大学校 海上保安学校で卒業式を挙行



海上保安大学校



海上保安学校



平成30年3月24日、海上保安大学校（広島県呉市）において、本科第64期学生42名の卒業式と特修科第63期研修生45名の修了式が執り行われました。翌25日には海上保安学校（京都府舞鶴市）において、本科船舶運航システム課程第51期生、航空課程第16期生、情報システム課程第25期生、海洋科学課程第26期生の総員262名の卒業式が執り行われました。

また、大学校の卒業式・修了式には安倍内閣総理大臣と石井国土交通大臣が、学校の卒業式には石井国土交通大臣がご出席し、祝辞の中で卒業生等を激励されました。

# 海上保安庁とベトナム海上警察の 第4回実務者会合を実施



合意文書の交換



海上保安庁長官表敬

平成30年4月16日、17日の2日間、海上保安庁とベトナム海上警察は、今後のベトナム海上警察に対する支援等について協議するための実務者レベルの会合を開催しました。この会合は、平成27年9月にベトナム海上警察との間で交換した協力覚書に基づくもので、「ベトナム海上警察に対する協力推進計画」（2016年～2021年の5か年計画）の進捗状況等を確認し、巡視船の派遣やワークショップの開催を柱とする2018年度の協力計画について合意しました。

# ジブチ共和国において 海賊護送訓練等を実施



海賊護送訓練



海上保安監(手前左)とジブチ沿岸警備隊長官(手前右)



ジブチ国家治安庁、ジブチ沿岸警備隊との意見交換



護衛艦「せとぎり」への訪問

平成30年2月21日～2月23日の間、ジブチ共和国に海上保安監を団長として当庁職員を派遣し、関係機関との間で海賊護送訓練、海賊対策等にかかる意見・情報交換等を実施しました。

海上保安庁では、引き続きジブチ沿岸警備隊の法執行能力向上支援等を実施するとともに、法の支配に基づく自由で開かれた安全なインド太平洋海域を実現するべく、関係機関との更なる連携・協力関係を推進していきます。

# 女性職員が活躍できる職場環境を 目指してマタニティ服の導入



マタニティ服を着用し、業務に従事する女性職員



導入されたマタニティ服(冬服)



導入されたマタニティ服(夏服)



平成30年度から、制服を着用する海上保安部等の女性職員が制服に代えて着用できるマタニティ服を導入しました。

海上保安庁には、平成30年4月1日現在、育休中等の職員を含めると982人(約7.0%)の女性職員が在籍しており、そのうち6割が20代です。彼女たちが、結婚・出産といったライフイベントの後も働き続けていけるよう、女性職員が活躍できる職場環境づくりに取り組んでいます。

## 平成30年度測量船出港式を挙



長官訓示



測量船「明洋」の見送り

平成30年4月18日に測量船「昭洋」、「拓洋」及び、19日には測量船「明洋」、「天洋」、「海洋」の出港式を東京都台場の各測量船の専用岸壁で挙

行いたしました。18日の出港式に、長官が出席し、「海上保安官として誇りを持ち、安全管理を徹底し、互いに助け合う中で国民の期待に応えてほしい」と訓示をされました。また、翌19日には、海上保安監が出席し「一人ひとりが安全意識を高め、安全対策を徹底し、船一丸となって安全に業務を進めていただきたい」と訓示をされました。両日も、各測量船の乗組員は緊張の面持ちで式に臨んでいましたが、長官をはじめとする幹部職員の激励と見送りを受け、乗組員は強い使命感にあふれた姿となり、各測量船はそれぞれの調査海域に向けて出港しました。

今年度は海底地形調査や海底地殻変動観測などの海洋調査を計画的に実施する予定です。



釜石港湾口北防波堤灯台被災状況



釜石港湾口北防波堤灯台(復旧後)



献花の状況

## 東日本大震災から7年を迎えて

平成30年3月11日、東日本大震災から7年目を迎え、海上保安庁では、現在も、被災者の方々に寄り添いつつ、地元自治体の要望に基づき、行方不明者の捜索を実施しています。

また、航路標識についてはこれまでに151基が被災前の機能を回復しており、海上保安庁では引き続き、復旧作業を計画的に実施します。



受閲航空機隊第一小隊のベル412「せとづる」。テロ容疑船捕捉・制圧訓練では、不審船を発見する役割などを担い、その華麗な動きをあますことなく見せ、観衆を魅了した。



## 6年ぶりの観閲式 2日間で約5700名が乗船

5月19日と20日、東京湾羽田沖で「海上保安制度創設70周年記念観閲式及び総合訓練」が実施された。近年は、2012年に実施されていた（2011年は東日本大震災の救助作業などで中止）ものの、2013年以降、尖閣諸島周辺海域における領域警備をはじめ、伊勢志摩サミット海上警備などの重要な任務が相次いだため、中止されていた。昨年は第三管区海上保安本部主催の総合訓練が実施されていたものの、海上保安庁主催としては、6年ぶりの開催となった。

かねてより海上保安庁の観閲式には、多くの一般応募者が詰めかけていたが、今年は約1万4000人が応募し、招待者などを含めると2日間で約5700名が乗船した。1949年に「巡視船観閲式」として始まって今年で57回目。その長い歴史のなかで、築いてきた信頼が現れた数字だといえるだろう。

まだ8時台だというのに、晴海ふ頭ターミナルは、いち早く乗船しようとする当選者たちでにぎわっていた。長蛇の列を眺めてみると、ファミリーや女性など世代や性別に関係なく、幅広い層が並んでいる。巡視船艇、航空機によるパレードや海難救助訓練などを見ることが出来る貴重な機会とあって、それぞれが期待を胸に乗船の時を待ちわびているようであった。晴海ふ頭に着岸した観閲船は「やしま」「そうや」「だいせん」の3

特集 海上保安制度創設70周年記念

# 観閲式及び総合訓練 華々しく開催

2013年以降に中止されていた「観閲式及び総合訓練」が6年ぶりに実施された世界最大級6500トン型の「あきつしま」をはじめ、関係船艇・航空機など計37隻15機が参加高円宮妃久子さまと三女の絢子さまや安倍晋三内閣総理大臣、石井啓一国土交通大臣が見守るなか海洋国家日本の海を守る保安官たちが日頃の厳しい訓練の成果を雄々しく披露した

取材・文：鈴木裕太（モメント株式会社）



受閲船隊第一小隊が縦一列に並び編隊を組んだ。写真右から「あきつしま」「とさ」「もとぶ」「ざんば」「昭洋」。いずれの乗組員も登舷礼と呼ばれる最上級の敬礼を観閲船に向け、安倍内閣総理大臣をはじめとした観閲官たちは答弁礼という敬礼で返答。近年は伊勢志摩サミットや尖閣諸島周辺海域の警備などの重要な任務が相次ぎ、中止されていた。



観閲船「そうや」の船上は乗船者たちでにぎわった。「そうや」は、かつて海上保安庁の伝説的な船として「海の守り神」の異名を取った「宗谷」の後継船。観閲式や総合訓練はもちろんのこと、由緒正しき船艇の上で過ごすクルーズのひとつも楽しんでいただいた。

隻。大型巡視船がふ頭に並ぶ光景は、圧巻の一言に尽きる。誰もがカメラを向け、その雄姿を写真に収めるのも無理はない。どの船艇も各自の管区で厳しい任務に当たっているため、ひとつの港に集結する機会はほとんどない。観閲式ならではの光景だといえるだろう。

6年ぶりの観閲式には数々の来賓も訪れた。19日は高円宮妃久子さまと三女の絢子さまのご臨席とともに、石井啓一国土交通大臣、中島敏海上保安庁長官、20日は安倍晋三内閣総理大臣、あきもと国土交通副大臣が列席。観閲式と総合訓練の様を見守った。「やしま」に乗船し、石井国土交通大臣と安倍内閣総理大臣はそれぞれ船上で挨拶を行い、観衆から大きな拍手を送られた。いずれの日程も大盛況に終わり、多くの観衆を魅了するこ



海上保安制度が創設された1948年、今と変わらないコンパスをデザイン化した庁旗を掲揚する大久保武雄初代長官。

## 制度70周年を迎えた 海上保安庁の歩み

今回の観閲式は、海上保安制度が創設されてから70周年という節目の年に行われた。そのため、当日配布されたパンフレットには大久保武雄初代長官による庁旗掲揚の貴重なモノクロ写真を掲載。安全な航海に必要なコンパスを現したシンボルマークは今と変わらず、正義仁愛の精神を示していることがうかがえる。

海上保安制度が誕生したのは1948年5月1日。職員の数8156名、巡視船艇132隻からスタートした。戦後間もないこの時期、密輸、密航が多発、海賊までも横行しており、各自治体による水上警察等が取り締まりに当たっていたが、統一された機関は存在しなかったため、非効率的であった。

さらに、1946年には朝鮮半島でコレラが蔓延。不法入国船を介して日本でもコレラに対する懸念が強まったため、海上警備を強化する必要がある。一元化された警備を組織することは貿易の健全化において避けては通れない課題であった。そこで1948年3月30日に海

上保安制度に関する法案が提出され、晴れて海上保安庁が創設される運びとなった。

当時は保安局、水路局、燈台局で構成され、山口県から九州・五島列島の密貿易船の検挙などを任務としていた。翌1949年には警備救難部が追加され、他の部局も局制から部制へと変更された。このように海上保安庁の任務は年を重ねるごとに拡大していった。その重要な任務のひとつに南極観測があった。第1号観測船として活躍した「宗谷」は、1956年から1961年に及ぶまで計6回の観測を実施。その後は海上保安庁最大の船艇として1962年には観閲式にも参加。医療救助活動から流水調査など幅広い任務にあたり、1978年の退役に至るまで、「海の守り神」という異名をもつ船艇として活躍した。今回の観閲式に参加した「そうや」はこの「宗谷」の後継船として1978年に就役。70年の歴史を偲ばせる船艇でもあった。

## 晴海ふ頭を出港 開催地点までのクルーズ

70周年を記念した観閲式及び総合訓練が実施される東京湾羽田沖までの移動する間は大型巡視船でのクルーズを楽しむ時間となった。離岸した12時45分からおよそ1時間15分、船上では乗組員のアナウンスとともに、普段見ることのできない景色に目を奪われ、海上施設の解説に耳を傾けることとなった。

船内に流れるのは海上保安庁音楽隊に



晴海ふ頭に停泊する出港前の「やしま」。この船には、高円宮妃久子さまや安倍内閣総理大臣など要人のほかに報道カメラなどが乗船。観閲船隊の二番船を務めた。

よる心地よいBGM。風を切りながら進む大型巡視船から、最初に見えてきたのはレインボーブリッジだった。全長798メートルの観光名所を下から眺められる機会はそう多くはないだろう。レインボーブリッジを通過すると左手前方にはお台場、右手前方に日本最初のコンテナターミナル・品川ふ頭や大井コンテナふ頭を望む。船上アナウンスはこうした施設について、事細かに解説。なかでも、海上保安庁の伝説的な船「宗谷」が公開展示されている船の科学館についての解説には多くの時間が割かれた。

アナウンスに従って船の科学館の屋上へと目をやると、上から「U」「W」と書かれた2枚の旗が上がっていた。これは「航海の安全をお祈りします」という意味。これにに応じて、観閲船隊も「U」「W」「I」という旗を掲揚していたが、これは「ご協力に感謝する、航海の安全を祈る」という返答の意味がある。さらに観閲船が通過するのを見計らって、船の科



マストに掲揚された旗。長官旗や指揮官旗などのほかに、外国の船と通信するときなどに記号として使用される信号旗も。この日は「本船は訓練中」と示されていた。



東京湾クルーズの最初に通ったレインボーブリッジ。その裏側を間近で見られる機会は大型巡視船ならではの。20日は天候にも恵まれ、絶好のクルーズ日和だった。



「やしま」出港後の晴海ふ頭。背後に見えるのは観閲船隊3番船の「そうや」。観閲船隊は順々に離岸していく。岸では関係者たちが敬礼をしたまま船を見送った。



受閲船隊  
第一小隊1番船  
あきつしま



受閲航空機隊  
第四小隊  
みほわし



関係機関  
船艇パレード  
はたかぜ

観閲式に登場した船艇や航空機。世界最大級の大型巡視船「あきつしま」や護衛艦「はたかぜ」の圧倒的な迫力には時折歓声があがった。さらに、ボンバル300「みほわし」などを筆頭とした航空機やヘリコプターによる低空飛行では、誰もがそのスピード感に酔いしれていた。

## 観閲式及び総合訓練参加勢力一覽

番船	名称	おもな型式	配属	
観閲船隊	1番船	PL31 いず	3500トン型巡視船	横浜
	2番船	PLH22 やしま	ヘリ2機搭載型巡視船	福岡
	3番船	PLH01 そうや	ヘリ1機搭載型巡視船	釧路
	4番船	PLH10 だいせん	ヘリ1機搭載型巡視船	舞鶴
第一受閲船隊	1番船	PLH32 あきつしま	ヘリ2機搭載型巡視船	横浜
	2番船	PL08 とさ	1000トン型巡視船	高知
	3番船	PL13 もとぶ	1000トン型巡視船	横浜
	4番船	PL84 ざんぱ	1000トン型巡視船	石垣
	5番船	HL01 昭洋	測量船	本庁
第二受閲船隊	1番船	PS13 つくば	180トン型巡視船	銚子
	2番船	PS14 あかぎ	180トン型巡視船	茨城
	3番船	PS15 びざん	180トン型巡視船	徳島
	4番船	PS35 ともり	180トン型巡視船	宮古島
第三受閲船隊	1番船	PC55 ふどう	35メートル型巡視艇	神戸
	2番船	PC43 おきなみ	23メートル型巡視艇	水島
	3番船	CL174 みやかぜ	20メートル型巡視艇	名古屋
	4番船	CL173 うきかぜ	20メートル型巡視艇	尾道
番船	名称	おもな型式	所属	
関係機関船艇パレード	護衛艦 はたかぜ	4600トン、全長150メートル	海上自衛隊	
	漁業取締船 はまなす	499トン、全長63メートル	水産庁	
	消防艇 みやこどり	195トン、全長43.2メートル	東京消防庁	
	監視艇 みらい	85トン、全長30メートル	横浜税関	
	警備艇 ぼうそう	41トン、全長24メートル	千葉県警察本部	
外国海上保安機関船艇パレード	Alex Haley	2592トン	米国沿岸警備隊	

番船	名称	おもな型式	配属
受閲航空機隊第一小隊	MH910 くまたか	シコルスキー76D	函館
	MH906 せとづる	ベル412	広島
	MH908 はなみどり	ベル412	福岡やしま搭載機
受閲航空機隊第二小隊	MH964 かみたか	アグスタ139	中部
	MH969 はまちどり	アグスタ139	福岡
受閲航空機隊第三小隊	MH689 あきたか	スーパービューマ225	横浜あきつしま搭載機
	MH691 いぬわし	スーパービューマ225	羽田
受閲航空機隊第四小隊	MA866 えとびりか	ビーチ350	千歳
	MA865 はくたか	ビーチ350	仙台
	MA726 みほわし	ボンバル300	美保
受閲航空機隊第五小隊	LAJ570 ちゅうらわし	ファルコン900	那覇
	LAJ501 うみわし	ガルフV	羽田
番船	名称	おもな型式	所属
関係機関訓練参加航空機	あおぞら	アグスタ139	関東地方整備局
	そよかぜ2	ドーファン	川崎市消防局
	かもめ	ドーファン	東京消防庁
	おとり1号	ドーファン	千葉県消防局
関係機関訓練参加船艇	消防艇 第6川崎丸	39トン、全長20.3メートル	川崎市消防局
	消防艇 ちどり	14トン、全長15メートル	市川市消防局
	消防艇 よこはま	120トン、全長32.2メートル	横浜市消防局
	消防艇 まつかぜ	104トン、全長31メートル	千葉県消防局
	警備艇 あおみ	21トン、全長19メートル	警視庁
	警備艇 しょうなん	41トン、全長24メートル	神奈川県警
	監視艇 あさひ	25トン、全長18メートル	東京税関
海上保安庁訓練参加船艇	FL01 ひりゆう (横浜)、PL10 ぶこう (横浜)、PC22 はまぐも (横浜)、CL36 きりかぜ (横浜)、CL50 はまかぜ (横浜)、CL109 のげかぜ (横浜)、CL130 くりかぜ (横須賀)		

学館から大きな汽笛が鳴った。その直後、「やしま」では満永船長による挨拶が流された。

「ご乗船の皆様、こんにちは。巡視船やしま船長、満永でございます。本日は巡視船やしまにご乗船いただき、ありがとうございます。本船はただいま東京港晴海ふ頭を離岸、出港いたしました。このあと、東京湾内において海上保安制度創設70周年記念観閲式及び総合訓練をご覧いただき、16時45分ごろ、晴海ふ頭に入港、着岸する予定としております。狭い船内、限られた時間ではございますが、ごゆっくりお楽しみください」（20日、やしま船上にて）

全長7キロに及ぶ東京西航路を進み、観閲船はやがて東京湾羽田沖へと到着。巡視船による東京湾クルーズは、丁寧なアナウンスによって、最後まで飽きることなく楽しむことができた。

### いよいよ総合訓練開始 参加船艇がぞくぞく集結

14時を目前にして、東京湾羽田沖の海上は急に慌ただしくなった。頭上ではヘリコプターやジェット機が飛び回り、周囲にはぞくぞくと船艇が集結。そして時刻が14時ちょうどを回ると定刻通りに観閲式が開始された。

受閲船隊の先頭を切って右舷方向に現れたのは第一小隊の「あきつしま」。世界最大級6500トンの巡視船とあって、堂々とした風格で大きな曳き波を作っていた。その後ろに続くのが

## 海上保安制度創設70周年記念観閲式及び総合訓練 国土交通大臣ご挨拶

### 国土交通大臣 石井 啓一

国土交通大臣の 石井 啓一 です。

本日、高円宮妃殿下、絢子女王殿下の御臨席の下、海上保安制度創設70周年の記念すべき、また、6年ぶりとなる「観閲式及び総合訓練」に際し、ご乗船の皆様にご挨拶を申し上げます。

本日は、全国から巡視船艇24隻、航空機12機が集結し、国内関係機関や米国沿岸警備隊の参加の下、かくも盛大な観閲式及び総合訓練が開催され、多くの方々にご覧いただきましたことを大変嬉しく思います。

我が国周辺海域では、毎年数多くの事件・事故が発生しており、海上保安庁は、「正義仁愛」という旗印の下、日々、事件・事故の未然防止に努めながら、遠方海域における領海警備や、海洋権益の確保、海洋情報業務、船舶交通の安全確保等、様々な業務に当たっています。

しかしながら、海上保安庁の活躍場所は海上であり、国民の皆様目に触れる機会は多くはありません。本日もご覧いただきました「観閲式及び総合訓練」が、海上保安庁に対する理解を深めていただく一助となれば幸いです。

また、海上保安官にとって、国民の皆様の支援が何よりの力になります。引き続き、ご支援いただけますよう、よろしく願いいたします。

さて、海上保安官諸君。本日の「観閲式及び総合訓練」では、堂々たる観閲船隊の航行、一条乱れぬ編隊飛行、高い鎌度の各

種訓練に触れ、諸君の弛まぬ努力、旺盛な士気に、国土交通大臣として、非常に頼もしく思います。

四面を海に囲まれた我が国は、古来より、海から多くの恩恵を受け、海と共に発展を遂げてきました。現代に生きる我々は、この「平和で豊かな海」を守り、次世代に継承していく責任があります。その中で、大きな使命を担うのが海上保安庁です。

海上での事件や事故に対応する船艇・航空機職員、特殊救難隊や機動防除隊等のスペシャリスト、犯罪捜査に当たる職員、海洋調査や海洋情報を扱う調査官、船舶交通の安全確保に当たる管制官、そしてこれら職員を支える職員諸君。様々な舞台で、24時間365日、真摯に使命を遂行する姿勢に心から感謝いたします。

今年は、海上保安制度創設70年の節目の年に当たります。海上保安庁では、創設以来、幾度となく社会的・国際的に注目度が高い事案に、実直に、そして怯むことなく、職員一丸となって対応してきました。

中でも、平成23年に発生した東日本大震災では、未曾有の被害をもたらした、多くの人々の尊い命や幸せな暮らしを奪いました。海上保安庁では、職員一人一人が被災された方々に寄り添いながら、捜索救助活動や被災港湾の水路測量、航路標識の復旧等、総力を挙げて震災に立ち向かいました。

また、尖閣諸島周辺海域では、外国公船等による領海侵入が繰り返されており、日本海では大和堆周辺海域における北朝鮮籍



漁船の操業問題、北朝鮮からと考えられる漂流・漂着船が相次いで確認される等、我が国周辺海域で発生する様々な脅威に対し、海上保安官は、高い士気をもって対応に当たっております。

70年に及ぶ海上保安庁の歴史をつくってきたのは、幾度となく現れてきた苦難を乗り越え、積み重ねてきた「現場力」であります。

今後も、国民の皆様安全・安心を守り抜くという強い信念をもって、海上保安庁の歴史を紡いでいって欲しいと願います。

海上保安官諸君。ご家族の支えがあるからこそ、全力を出し切って、国民の安全・安心を確保し、「平和で豊かな海」を守ることが出来ます。家族を労うとともに、引き続き、崇高な使命を胸に、それぞれの職務に精励していただきたい。諸君の活躍に大いに期待しています。

最後になりましたが、ご乗船の皆様方には、常日頃から海上保安庁にご理解とご協力をいただいておりますことに感謝申し上げます。今後とも、一層のご支援、ご協力をいただきますよう、心からお祈り申し上げます。また、皆様方のご多幸をお祈り申し上げます。私の挨拶とさせていただきます。

平成三十年五月十九日  
国土交通大臣 石井 啓一



1000トン型巡視船の「とさ」と「もとぶ」「ざんば」。なかでも「ざんば」は、尖閣領海警備にあたっており、今回は多忙を極めるなかで沖繩から参加した。

第二小隊は180トン型の高速巡視船で編成された。1番船として先頭を切ったのは「つくば」に次いで「あかぎ」「びざん」「ともしり」が颯爽と海上を通り過ぎていく。「ともしり」もまた尖閣領域での任務にあたり、漁船などへの体当たりで耐えられる構造になっている。いずれの乗組員たちも観閲官たちに対して最上級の敬礼である登舷礼を行い、直立不動の凛々しい姿は船上からも目視できた。

第一から第五小隊で編成された受閲航空機隊全12機のほか、関係機関船艇パ



人命救助・海上防災訓練

アグスタ139「かみたか」から漂流者を救護に駆けつける特殊救難隊。鍛錬なしにはできない「スライドリペリング降下」でピンポイントに海面へと降りていく。事故発生からわずか13分間で消火から2名の救助をこなす技術力は、まさに圧巻であった。



放水展示・ヘリコプター編隊飛行訓練

放水展示・ヘリコプター訓練では、「はまぐも」が赤色、「消防艇第6川崎丸」が緑色、「消防艇ちどり」が黄色の着色放水を実施。カラフルな色合いが青い海と空を鮮やかに彩った。

リードとして米沿岸警備隊の「アレックスハイリー」なども参加した。

**緊張感に満ちた訓練 間近で見る練度の高さ**

総合訓練は、全部で4つのパートに分かれて実施された。

### 1. 放水展示・ヘリコプター編隊飛行訓練

放水展示は、日頃は消火作業などにあたる「ひりゆう」「はまぐも」「消防艇第6川崎丸」「消防艇ちどり」の4隻によ

### 2. 人命救助・海上防災訓練

この訓練は、海上でタンカーが爆発し、2名の乗組員が海上に放り出されたというケースを想定して行われた。訓練が開始されると同時にタンカーを想定した船から大きな爆発音があり、白煙が立ち上った。その直後に海上に放り出された漂流者の救助にあたるヘリコプターとタンカーの消火作業にあたる船艇が事故現場に急行。けたたましいサイレンが鳴り響き、平穏だった海上に緊迫感が高まっていく。観閲船内では、漂流者救助のための通信が中継され、さながら現場にいるような臨場感であった。

漂流者を海上から救助するのは特殊救難隊。高度な知識と技術力を併せ持つ海上救護のスペシャリストで、全国で36名の選ばれた精鋭だ。漂流者に向けてピンポイントで降下する「スライドリペリング降下」という手法は、海上保安庁が長年の救護活動の上に生み出されたハイレ

ベルな方法。またたく間に救助を成功させる模様には、観衆たちは思わず拍手を捧げずにはいらなかった。

### 3. テロ容疑船捕捉・制圧訓練

国際テロリストの容疑船が再三の停船命令に応じないため、海上保安庁と関連機関が船艇や航空機によってテロリストを制圧することを想定した訓練。航空機によって発見された容疑船（「はまかせ」を想定船とした）の周囲を高速ゴムボート2艇が周回規制をしながら、容疑船の動きを制限するところから訓練は開始された。そこに捕捉するための「おおみ」「おきなみ」「しょうなん」「みらい」の船隊が追いつく。各船が「逃走をやめ、ただちに停船せよ」と停船命令を発するも容疑船が応じないため、船艇とヘリコプターから強い光を発する閃光警告弾と大



テロ容疑船捕捉・制圧訓練

けたたましいサイレンが鳴り響くなか、テロ容疑船を捕捉。高速ゴムボートによる周回規制や航空機による警告弾などもさることながら、小銃での威嚇射撃など緊迫感あふれる訓練が9分の間で目白押し。

海上保安制度創設 70 周年記念観閲式及び総合訓練  
内閣総理大臣ご挨拶

# 雪に耐えて 梅花麗し

内閣総理大臣 安倍 晋三



本日、北は釧路から、南は石垣まで、全国の巡視船と航空機が集結し、国内関係機関や米国沿岸警備隊の参加の下、6年ぶりに、観閲式及び総合訓練が執り行われました。

巡視船や航空機を縦横に操り、ヘリコプターから救助を求める人を目掛けて正確に降下、巡視船から逃走する容疑船に素早く移乗する。隊員諸君の練度の高い動きを目の当たりにし、内閣総理大臣として、大変頼もしく思います。

今この瞬間も、海における様々な脅威に対峙し、海の安全確保という我が国の根幹を成す使命を、実直に、そして立派に果たしている海上保安官諸君に、心から敬意を表します。

我が国は、海から豊かな恩恵を受け、時には、海からやって来る脅威を防ぎ、海洋国家としての歴史を紡いできました。

今年は、海上保安制度創設 70 周年の節目の年に当たります。

先の大戦により、灯台が破壊され、機雷によって沈んだ多くの船はそのまま残され、また、密航・密輸などの海上犯罪が横行し、海上の秩序が崩壊する中で、海上保安庁は、平和で豊かな海を取り戻すという使命を体し、船出したのです。

海難救助の現場では、荒れ狂う波に揉まれ、タンカー座礁の現場では、流出した原油にまみれ、工作船追跡の現場では、銃撃を潜りながら、国民の幸せを願い、海を啓き、海の安全確保に尽力する海上保安官の姿が常にありました。海上保安庁なかりせば、今の海の安全、ひいては、日本の繁栄はなかった。

厳しい環境において、絶え間ない緊張感のもと、命がけで我が国の海を守る海上保安官の姿に触れるたび、私は、西郷隆盛が詠んだ詩の一節を思い出します。

「雪に耐えて梅花麗し」

梅の花は、厳しい冬の寒さを耐え忍ぶからこそ、春に芳しい香りを放つ美しい花を咲かせることができる。苦難や試練にじっと耐え、それを乗り越えた先に喜びが待っている。海上保安庁の徽章に梅の花が使われているゆえんです。

どんな困難な状況であっても、梅の花のように忍耐強く使命に当たる諸君を、私は誇りに思います。そして、これからも、海の安全の確保という尊い任務を果たし、国民の期待に応えていって欲しいと思います。

現在、我が国の周辺海域を取り巻く情勢は、過去に例をみないほど厳しさを増しています。尖閣諸島周辺海域では、外国公船による領海侵入が繰り返され、日本海では、北朝鮮からと思われる漂流・漂着船が相次いで確認されるなど、我が国の周辺海域は常に緊張に包まれています。

こうした情勢を踏まえ、先日、「海洋の安全保障」を海洋政策の重要な柱に据えることを決め、政府一体となって、この苦難に立ち向かうことといたしました。

「海洋の安全保障」は、我が国の平和と安全を自らの力で守り抜くことはもとより、諸外国との連携を通して、国際的な海洋秩序を形成・強化していくことにより、達成され得るものです。

海における脅威に対して、真っ先に駆けつけ、最前線に立ち続ける海上保安庁。白く輝く船体は、力に屈せず、法に則り、事を平和裏に解決する我が国の意思を示すものです。海洋における法の支配を率先する、その姿は、世界中から注目されています。

海上犯罪の取締り、領海警備、海難救助、海上交通の安全確保、海洋の調査。法の支配に基づく自由で開かれた海の堅守のため

に、どれ一つとして欠かすことはできません。海上保安官諸君には、国内外からの大きな期待に応え、これに対応するために精励していただきたい。

海上保安庁なくして、海洋立国日本の将来はありません。諸君の 70 年の歴史に裏打ちされた「現場力」を力に、これまで以上に多くの重要な使命を果たしていくことを期待しています。

「いつ帰ってこれる?」、「いつになるかわからない」

海上保安官とご家族との間で幾度となく繰り返されてきたやりとりです。昼夜の別なく、また、いつ終わるとも分からない任務に向かう後ろ姿を、ご家族は、何度見送ってきたことでしょうか。その度に、ご家族の皆様には、不安とご苦労をおかけしてきました。

ご家族の皆様のお支えがあるからこそ、海上保安官は全力を出し切って、国民の安全・安心を確保し、「平和で豊かな海」を守ることができます。この場をお借りして、心から感謝申し上げます。

最後になりましたが、ご乗船の皆様方には、常日頃から海上保安庁にご理解とご協力をいただいておりますことに感謝申し上げます。今後とも、一層のご支援、ご協力をいただきますよう、心からお願いするとともに、皆様方のご多幸をお祈り申し上げます。私の挨拶とさせていただきます。

平成三十年五月二十日  
内閣総理大臣 安倍 晋三

## フェアウェルセレモニー



宮古島海上保安部に所属する「ともしり」の船上では、島の名物でもあるクイチャーという踊りを披露。この後、尖閣諸島沖の取り締まり対応に戻った。



「ふどう」の乗組員は阪神タイガースの熱狂的なファンが多い神戸海上保安部に所属。阪神のユニフォームに身を包み、阪神の旗を振って見送っていた。



フェアウェルセレモニーで回頭しながら放水をする「ひりゅう」。毎分46トンの大量の水が円を描く。この日のために猛練習を積んだ訓練の賜物だとアナウンスされた。



徳島市内の眉山を由来とした徳島海上保安部の「びざん」。船上では徳島名物の阿波踊りを披露してお見送り。高速機動訓練とはまったく異なる和やかな雰囲気、観閲船隊に向けて手を振り続けていた。

大きな音を発する音響警告弾を発射。テロリストが小銃で抵抗したために、「おきなみ」から正当防衛射撃を行い、完全武装した海上保安官が相手の船に乗り移って制圧した。高速ゴムボートの周回や相手船への乗り移りなど、日頃の鍛錬が試される高度な技術を随所に披露。観衆は制圧までの経緯を固唾を飲んで見守っていたが、その迅速な対応に驚きを隠せなかった。

### 4. 高速機動連携訓練

この訓練は、大型巡視船及び護衛艦による第1段階と、小型巡視船隊による第2段階で実施。第1段階では護衛艦「はたかぜ」と1000トン型巡視船「ざんぱ」 「もとぶ」による急速回頭、第2段階では「びざん」「あかぎ」「つくば」の時速約50キロでの急旋回と空砲射撃が行われた。いずれの訓練も大きな曳き波を起し、100メートル離れた観閲船ですら揺れを感じるほどだった。



高速機動連携訓練

高速機動連携訓練では、編隊を組んだ3隻の船艇が急速で海上を駆け抜け、急回頭する。簡単そうに見えても、実は息の合った連携がなければできない高度な操船技術を要する訓練。大きく立った曳き波は観閲船隊を揺らすほどだった。

### 参加者たちを見送る 心温まるフィナーレ

訓練が終わった直後、一部の航空機と船艇によるフェアウェルが行われた。「せとづる」「はまちどり」のヘリコプターはドアを開き、乗組員たちがこちらに手を振って観閲船を見送る。その後、観閲船の右舷後方から「ふどう」を先頭に船艇が通過。その際式や訓練とは異なり、各管区の名物やご当地キャラクターが船上でパフォーマンスを披露。たとえば、神戸の「ふどう」は阪神タイガースカラーに彩られ、宮古島の「ともしり」の船上では乗組員たちが「クイチャー」という踊りを披露してくれた。つかの間のセレモニーに参加したすべての人々が笑みをこぼし、笑顔のまま式典は終わりの時を迎えた。



観閲船「やしま」のヘリコプター格納庫では、海上保安庁音楽隊による生演奏が行われた。20日には、声楽を学ぶミス日本「海の日」の山田麗美さんによる歌とのコラボも行われ、参加者たちの耳を癒した。



高知海上保安部(第五管区) ..... 4/27  
**密輸撲滅街頭キャンペーン実施!**



宇和島海上保安部(第六管区) ..... 3/5  
**霧海難防止活動**  
 宇和島港で旅客船へ安全指導を実施!

小樽海上保安部(第一管区) ... 3/12  
**初の連携訓練!**  
**北海道防災航空室との**  
**合同訓練実施**



青森海上保安部(第二管区) ..... 1/20、2/12、4/22、5/19  
**公務員合同説明会**  
 青森出身の海上保安官の卵をGET!

# FLASH



若松海上保安部(第七管区) ..... 3/9  
**頑張ろう! 働く女性たち!**  
 三菱ケミカル(株)黒崎事業所の女性職員との交流



三本部(第三管区) ..... 3/26  
**巡視艇「みやかぜ」引渡式実施!**  
 あきもと国土交通副大臣が乗組員を激励



福井海上保安署(第八管区) ..... 3/29  
**うみまるパンが焼きあがりました!**  
 ~「巡視艇あざぎり」のパン職人~



四日市海上保安部・尾鷲海上保安部(第四管区) ..... 4/14  
**めざそう! 「防災の日常化」**  
 「三重県民の日」イベントで海上保安業務をPR



海上保安学校..... 2/24  
**熱戦! 海上自衛隊とのスポーツ交流大会**



九本部(第九管区)..... 5/4-5  
**ライフジャケットの正しい着用法は?**  
「やすらぎ堤川まつり」に併せ、ライフジャケット着用推進PR

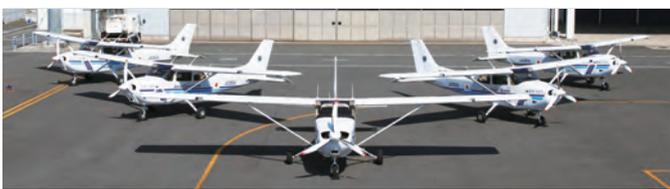


海上保安学校門司分校..... 4/8  
**本州と九州を結ぶ関門海峡、28キロ完歩!**



串木野海上保安部(第十管区)..... 4/29-30  
**串木野まぐろフェスティバルに併せた  
巡視船「とから」一般公開**

# NEWS



本庁装備技術部..... 3/1、3/5、3/27  
**セスナ172、ベル505新型機導入**



那覇海上保安部(第十一管区)..... 5/4  
**「那覇ハーリー」開催に併せた  
巡視船「りゅうきゅう」一般公開**



海上保安庁音楽隊..... 5/16  
**米国沿岸警備隊巡視船入港に併せた出迎え歓迎演奏**



海上保安大学校..... 4/27  
**平成30年度練習船「こじま」遠洋航海に向け呉出港**

# 大切な命！自分で守る！

## 自船の安全確保 3か条

### 1. 発航前、機関や燃料等の点検の実施

発航前は、船体とエンジン周り、燃料の量、バッテリーの状態を点検するとともに、最新の気象・水路情報等を入手しましょう！



### 2. 航行時、常時見張りの徹底

航行時は、他の船舶の動向や浅瀬・定置網など周囲の水域の状況を継続して把握する必要があることから、常時適切な見張りを実施しましょう！



### 3. 故障時に備え、救助支援者の確保

事故で最も多いのが機関故障！発航する際は、万が一の機関故障の発生に備え、仲間の船やマリナー等の救助艇による救助体制をあらかじめ確保しておきましょう！

また、併せて入航時刻等を家族やマリナー等へ連絡しておきましょう！



**3つの事項を実践して、自船の安全を確保しましょう！**

## 海上保安大学校・海上保安学校採用試験

海上保安庁では、当庁の職員の養成機関である海上保安大学校及び海上保安学校の学生を募集しています。試験の日程については、下記のとおりです。詳しくは、最寄りの海上保安本部または海上保安庁総務部教育訓練管理官付学校教育係 (Tel. 03-3580-0936) までお気軽にお問い合わせください。



海上保安大学校 採用試験  
(平成31年4月採用)

受付期間 平成30年8月23日(木)～9月3日(月)  
第1次試験 平成30年10月27日(土)、10月28日(日)  
ホームページ <http://www.jcga.ac.jp/>



海上保安学校 採用試験 (平成31年4月採用)  
※10月採用の試験も例年行っています。

受付期間 平成30年7月17日(火)～7月26日(木)  
第1次試験 平成30年9月23日(日)  
ホームページ <http://www.kaiho.mlit.go.jp/school/>

学生採用試験  
ホームページ

<http://www.kaiho.mlit.go.jp/ope/siken.html>



■海上保安庁 〒100-8976 東京都千代田区霞が関2-1-3 Tel. 03-3591-6361 <http://www.kaiho.mlit.go.jp/>  
公式ツイッター [https://twitter.com/JCG\\_koho](https://twitter.com/JCG_koho) 公式YouTube <https://youtube.com/channel/UC3yxhEkCZKaDa-SdzaWECaQ>